

① 現在、わが労組組合戦線を分裂せしめてゐる原因は、左の通りである。

一、社会民主々派右翼から幹の分裂主義的組織方針（今や彼等は右翼の結成に急がつてゐる）。

二、ウルトラの観念的孤立的組織方針

三、支配階級の分裂政策

四、左翼労組組合の全国的統一の未完成

五、青年手工の統一の活動の不足

（六）、これらの諸難局を克服することなくしては、全労組組合の統一も、産業別物全国統一組合の結成も不可能である。我々は、今や堂々と樹立されたわが總評議会を、全力を挙げて拡大強化し、且つ絶えざる精力的共同斗争を通じて、右翼、中間派組合の大衆と手を握り、更に鞏固なる大左翼労組組合戦線を確立しなければならぬ。

（七）更に又、農民組合戦線に於ては、同一のことが言へる。今や社会民主々派一派の如く幹の権限の下に、右翼農民組合が結成され、それと全農との対立が激成されつゝあると今既に、全農内部のウルトラ一派によつて、全農分裂の危機が醸成されつゝある。かゝる状態に陥して、大左翼農民組合主義を確立することは絶対に必要である。

（八）この陳状々は、飽くまで全農内部の大左翼正統派を擁護し、且つ労働

地を通じて、それらの戦争的農民と固キプロックを作ることに努力しななければならぬ。

（九）労働政党的分野に於ては、我々の積極的参加によつて、飽くまで左翼的立場を最守しつゝ、ある労働党と、代表的社会民主々派から幹によつて毒集まらつゝ、ある社会民主衆党と、中間派的立場を標榜してゐる全国大衆党とが樹立してゐる。

（十）現在、労働党と大衆党との間には合同問題が進展しつゝ、あるが、我々は、大衆党の幹部中に多くの如く幹分子が存在してゐることを明瞭に認識してゐる。わが總評議会は、それらから幹との徹底的斗争を敢行し、労働党と大衆党との合同問題を、大左翼労働政党的樹立の一契機たらしめなければならぬ。

（十一）以上所述をを通り、我々左翼陣営にとつては、大左翼結成の必要と、その可能性とが、益々増大しつゝある。我々總評議会は、全力を挙げて大左翼の結成に邁進し、大左翼組織運動の先導隊たらしめなければならぬ。

### 農との提携に関する方針決定の件

わが國に於て、戦争的プロレタリアートが、農民大衆と固き提携を保